ただいま。おかえり。
やっぱりこの街が好き

久留米の魅力 再発見

特集
イチオシ久留米

自然豊かな久留米は、ご当地グルメや酒、フルーツ、ものづくりなどが有名ですが、他にも魅力がいっぱい。ランキングデータや子育て情報、移住者の感想など、まだ知られていない魅力を「イチオシ久留米」として紹介します。久留米をもっと好きになるネタをぎゅっと詰め込みました。
㊐広報戦略課（☎0942・30・9119、FAX0942・30・9702）

関連サイトはこちら

30万人切ったけど、魅力いっぱい

1 人口 298,174人

（令和8年10月1日時点）

久留米市の人口は県内で第3位の規模。人口30万人を下回りましたが、久留米を選んでくれる子育て世帯も多いんです。

中核市でも約半数の市で転出者が多い中、久留米は健闘中

2 久留米から引っ越す人より来てくれる人が761人多い

出生や死亡の増減で人口は減っていますが、転入者数から転出者数を引いた数はプラス。実は、転入者数のほうが多いんです。

▶人口比較
298,174人（令和8年10月1日時点）−299,357人（令和7年10月1日時点）＝△1,183人
▶増減の主な内訳
転入者12,763人、転出者12,002人、出生や死亡での増減数△1,789人
→転入者のほうが、転出者より761人多い

（写真）高良大社から久留米大学御井キャンパス、遠方に筑後川や背振山を望む



「住みやすい」は4年連続9割超え

住みやすさ 3

令和7年度に行った市民アンケートで、『**住みやすい』と答えた人は92.2%。**令和4年度から4年連続で9割を超えています。市に『愛着がある』と答えた人も88.4%で、平成22年度の調査開始以降、最も多い割合です。

▼令和7年度市民意識調査

住みやすい 92.2%

愛着がある 88.4%

暮らす 4

久留米市は、1位ではないけれど上位にランクインしている項目が多くあります。
出生数や、子どもの数、医療など、暮らしやすさを裏付けるデータを紹介します。

出生数

1千人あたり **7.18人**

中核市平均6人
（令和5年度人口動態統計）

実は子どもが多かった

第3位
中核市62市中

医師数

10万人あたり **602人**

中核市平均334.5人
（令和6年医師・歯科医師・薬剤師統計）

県内 第1位

医療が充実して安心です

第2位
中核市62市中

年少人口比率

（0～14歳）

13.5%

中核市平均11.8%
（地方行政調査会「中核市の行政水準に関する調べ2025」）

第3位
中核市62市中

救急搬送時間

119番から病院搬送までスピーディー

28.9分

中核市消防本部平均39.3分
（令和7年久留米広域消防本部調べ）

県内 第1位

第5位
中核市61消防本部中

働く 5

ゴムなどのものづくり産業や農業が盛ん。
新しい分野の産業も集まっています。

ゴム製品出荷額

ゴム製品は市内製造品出荷額の約25%を占める

1,045億円
（2025年経済構造実態調査 製造業事業所調査）

全国第6位

第1位
中核市62市中

久留米はバイオ関連産業も盛ん。67社が集積。

農業産出額

新鮮な農作物がいっぱい

366.5億円
（令和6年農林水産省推計値）

県内

第1位
福岡県全市町村中

▼県内シェア1位の農作物

米　タマネギ　レタス　サラダ菜　ホウレンソウ

（令和6年産福岡県農業統計調査、米のみ令和7年産作物統計）

憩う 6

耳納連山と筑後川に囲まれたまち。
都会も自然も楽しめます。

筑後川水系最大級 約80haのリバーサイドパーク

リバーサイドパークは、実はみずほPayPay（ペイペイ）**ドーム約11個分**の広大な河川敷公園。筑後川水系最大級の規模なんです。
野球やテニス、ゴルフなどのスポーツが楽しめ、秋には約15万本のコスモスが咲き誇ります。



日常のひとときからミュージカルまで 年間約60万人が来場 久留米シティプラザ



シティプラザのザ・グランドホールは4階層で**音響設備も充実。**全天候型の六角堂広場ではイベントがめじろ押しです。

★久留米あるある…焼きとり屋に家族で行く。店によってダルムの食感に違いがある。50代

★久留米あるある…電車が筑後川を渡る音で目が覚める。安心して寝る人もいる。40代